

令和7年度第2回 幸田町地域公共交通会議資料

えこたんバスの再編（案）について



令和7年11月28日

目次

1.えこたんバスのルート再編について 2

2.ルート再編検討の視点

(1) ルート再編検討の視点と分析内容 3

(2) バスルート間の重複区間 4

(3) 目的地へのアクセス性(アンケート調査結果) 5

(4) 目的地へのアクセス性(OD調査結果) 6

(5) 人口分布と現状のバス路線 7

(6) 利用者の偏りの検証 9

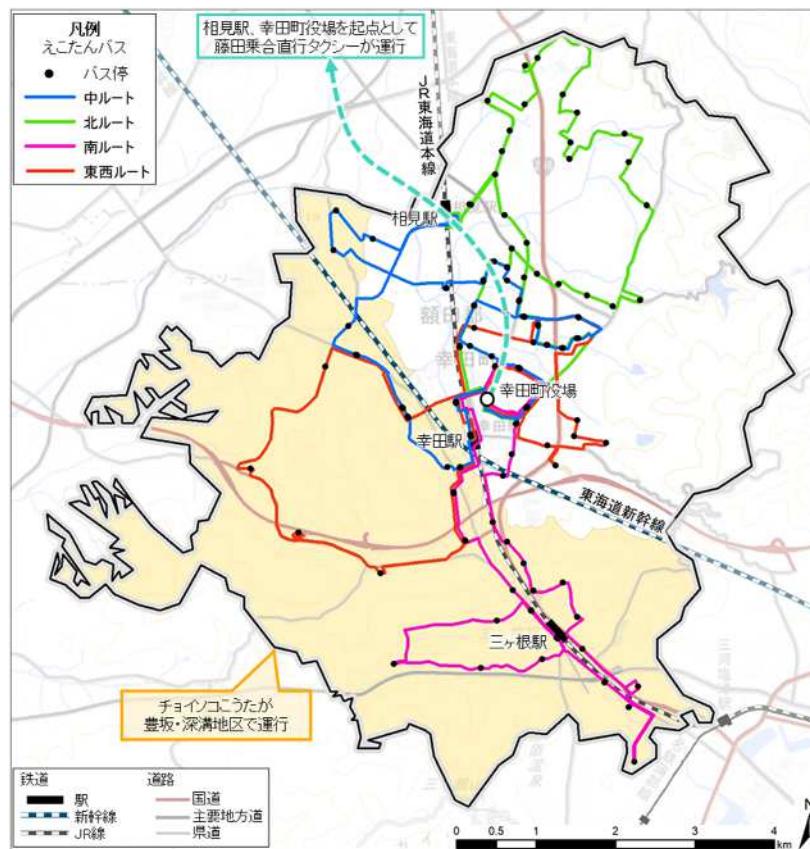
3.ルート再編方針 11

4.えこたんバスのルート再編案 12

1.えこたんバスのルート再編について

○幸田町の地域公共交通の主軸を担うコミュニティーバス利用率の低迷や幸田町地域公共交通計画の基本方針と連動した運行内容の見直しが必要となるため、えこたんバスの再編を検討。

■幸田町が運営するバス路線の現状



位置付け	系統	役割
広域幹線	JR東海道本線	幸田町と他地域を結ぶ広域交通軸
地域内幹線		幸田町内の居住地域や主要施設等を結ぶ地域内の基幹交通軸
支線	えこたんバス	幸田町内の居住地域と鉄道駅や主要施設等を結ぶフィーダー交通
	デマンド型乗合交通(チョイソコこうた)	えこたんバスを補完する交通
専用軸	藤田乗合直行タクシー	幸田町と町外の総合病院を結ぶ専用交通軸

■えこたんバスのルート再編について

背景

- ・幸田町の地域公共交通の主軸を担うコミュニティーバス利用率が低迷
- ・幸田町地域公共交通計画の基本方針と連動した運行内容の早期見直しが必要

えこたんバスのルート再編にあたって

前提条件

- えこたんバスは、人口集積地区を中心に運行
- 人口集積地区以外や利用用途が限定される場合は、デマンド型乗り合い交通で補完
- 既存の利用数の多い停留所はなるべく活用（現在の利用者の混乱を防ぐため）
- スクールタイム（15時台）はえこたんバスの運行は行わない（現状と同様）
- ドライバー不足により委託等の形態変化が困難
- 運行台数は4台（4ルート、2方向）
- ドライバーの休憩時間及びその間の車両配置場所の確保
- 町外への通院等、必要に応じて、隣接自治体への乗り入れも検討

ルート再編検討の視点

- ①えこたんバスの運行ルートに区間重複が生じていないか
- ②沿線地域からの日常の移動先に直接移動できない路線となっていないか
- ③路線周辺の公共交通不便地域において移動支援が必要な人が多く存在するか
- ④便別（時間帯ごと）の利用者数に偏り（少ない時間帯）はないか

検討時に考慮する内容

- 都市交通を取り巻く環境
- 社会情勢の変化
- 地域の移動ニーズ（アンケート調査結果、実態調査、OD調査結果等）
- 学校教育委員会の意見（スクールバスとして利用の要望）

えこたんバスのルート再編

← 走行テスト →

2.ルート再編検討の視点

(1)ルート再編検討の視点と分析内容

- 以下4つの視点で、現状を整理したうえ、ルート再編を検討。
- 上記を元に、走行テストの結果および学校教育課の意見を踏まえ、再編ルートを調整し、決定。

ルート再編検討の視点	分析内容	走行テストの結果や学校教育課からの意見を適宜反映
①鉄道や路線バスと区間重複が生じていないか	➢ えこたんバスのルートと鉄道・路線バスのルートをGIS上で重ね合わせて、重複の有無を定性的に確認。	
②沿線地域からの日常の移動先に直接移動できない路線となっていないか	➢ アンケート調査から、地区別に集計した「よく行く移動先（上位20施設）」へ公共交通機関で移動できるかを定性的に確認。 ➢ OD調査結果から利用の多いODを確認	←
③路線周辺の公共交通不便地域において移動支援が必要な人が多く存在するか	➢ えこたんバス運行地域内（行政区）の公共交通不便地域内の在住人口を算出し、現状のバスルートでカバーしきれていない人口の大小を確認。	
④便別（時間帯ごと）の利用者数に偏り（少ない時間帯）はないか	➢ えこたんバスの乗降実績から路線別便別に利用者数を比較。 ➢ OD調査結果から利用の少ないバス停等を確認	

●アンケート調査概要

調査日時：令和5年10月

調査対象：幸田町民

調査方法：幸田町に居住する18-64歳の男女から無作為に抽出した人を対象に、紙媒体による郵送配布・郵送回収アンケート調査を実施

回収数：347件

調査項目：普段の交通行動
送迎の状況

公共交通の利用状況・ニーズ
公共交通のあり方

●OD調査概要

調査日時：令和7年1月20日（月）～24日（金）

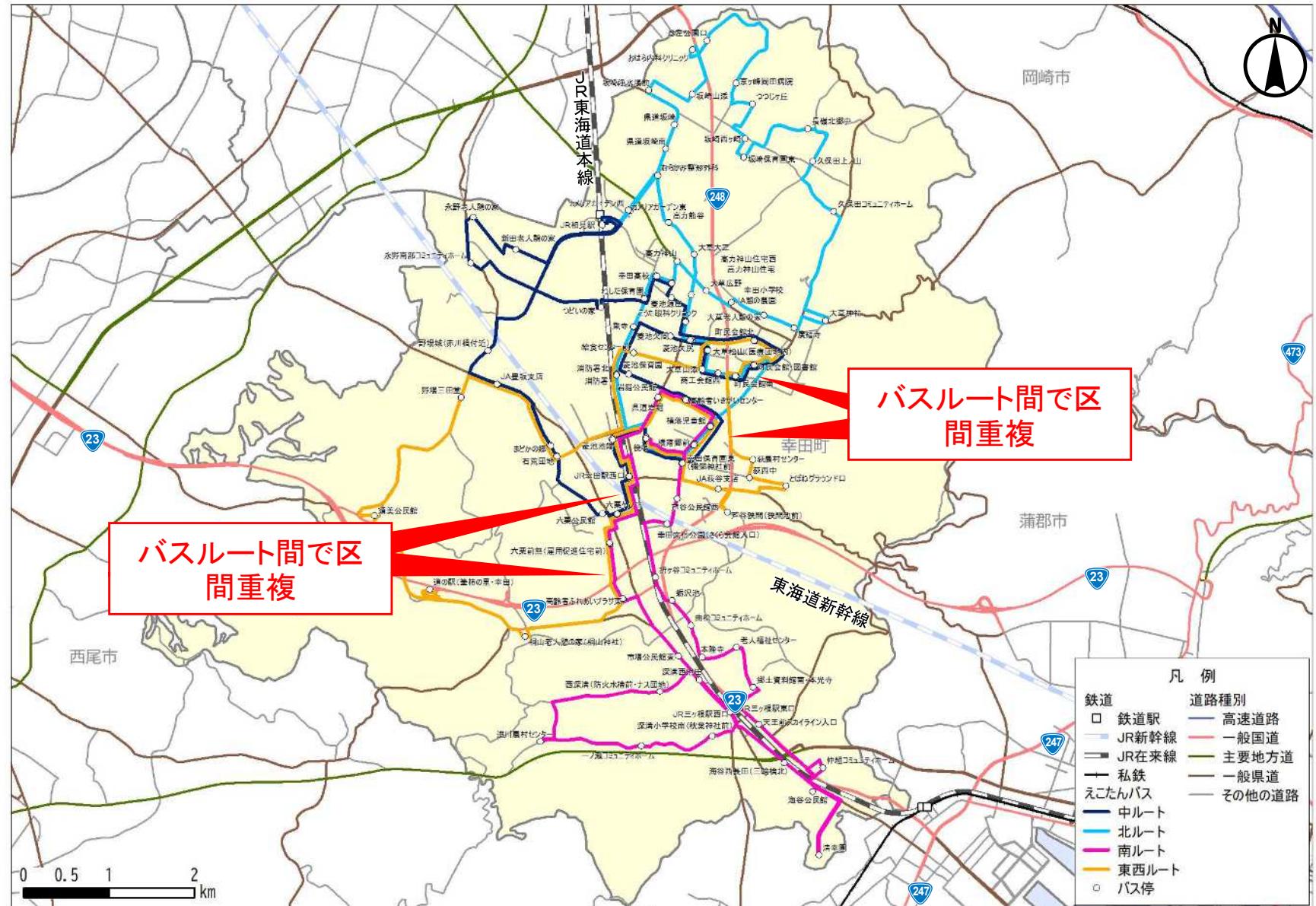
調査対象：幸田町えこたんバスの4路線（北ルート、中ルート、東西ルート、南ルート）×6便
1日24便×5日=120便を対象

調査方法：調査員が担当のバスに乗り込み、利用者別に乗車バス停、降車バス停を調査票に記入

2.ルート再編検討の視点

(2)バスルート間の重複区間

○えこたんバスルート間で重複が生じている。



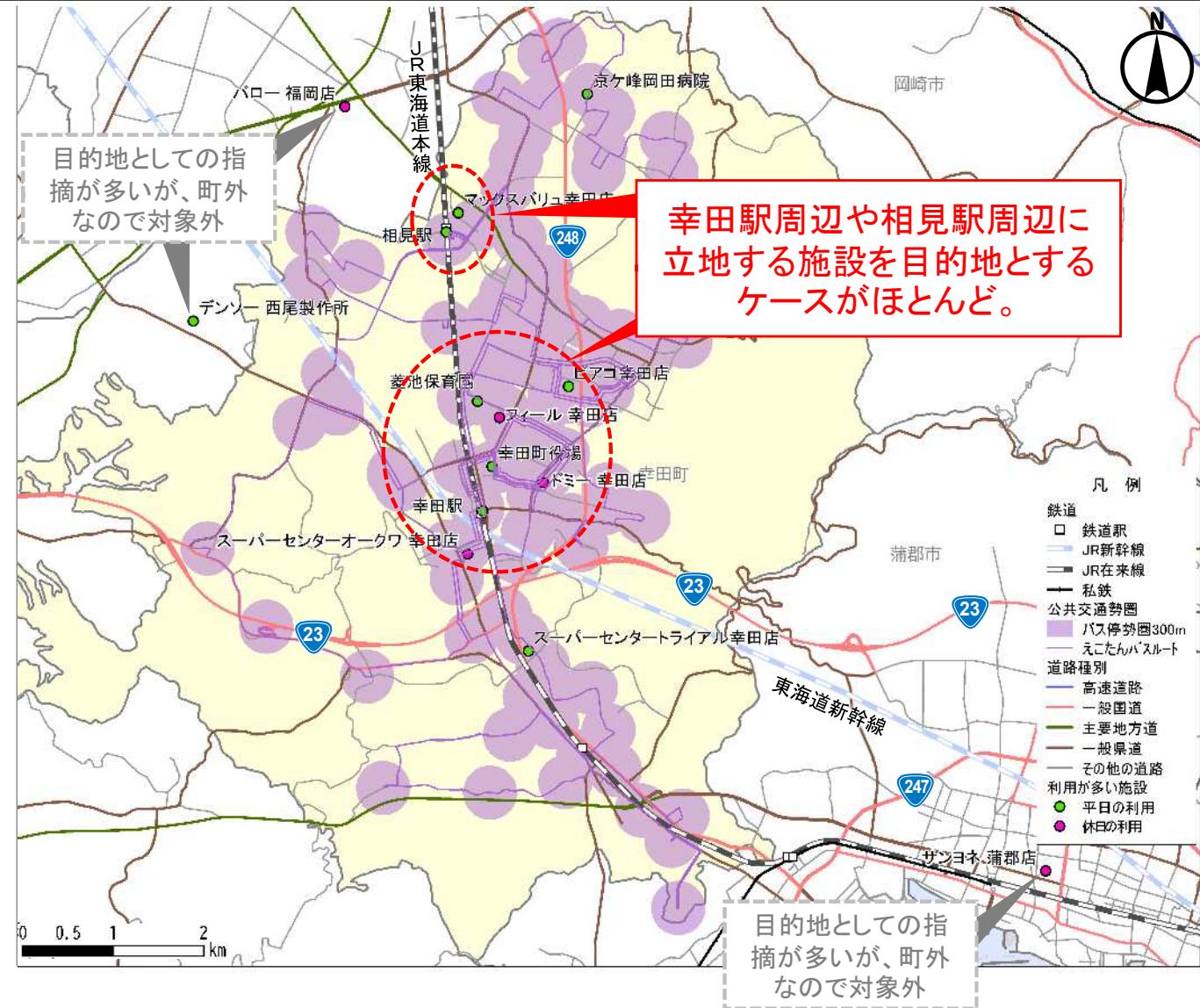
2.ルート再編検討の視点

(3)目的地へのアクセス性(アンケート調査結果)

- R5年度実施のアンケート調査結果から、平日・休日別に利用する施設を抽出。
- 幸田駅周辺や相見駅周辺に立地する施設を目的地とするケースがほとんど。
- 幸田町内の施設についてはいずれもバス停から300m圏域に立地。

施設名	回答数 (平日)	順位 (平日)	回答数 (休日)	順位 (休日)
デンソー 西尾製作所	18	1	0	12
ピアゴ幸田店	8	2	27	2
イオンモール岡崎	6	3	35	1
相見駅	5	4	0	13
マックスバリュ 幸田店	4	5	0	14
幸田町役場	4	6	1	11
菱池保育園	2	7	0	15
スーパーセンター ^{トライアル} 幸田店	2	8	8	3
幸田駅	2	9	0	16
京ヶ峰岡田病院	2	10	0	17
スーパーセンター ^{オークワ} 幸田店	1	11	8	4
サンヨネ 蒲郡店	1	12	7	5
フィール 幸田店	1	13	6	6
ドミー 幸田店	1	14	4	7
アピタ安城南店	1	15	3	8
アピタ西尾店	1	16	3	9
バロー 福岡店	0	17	3	10

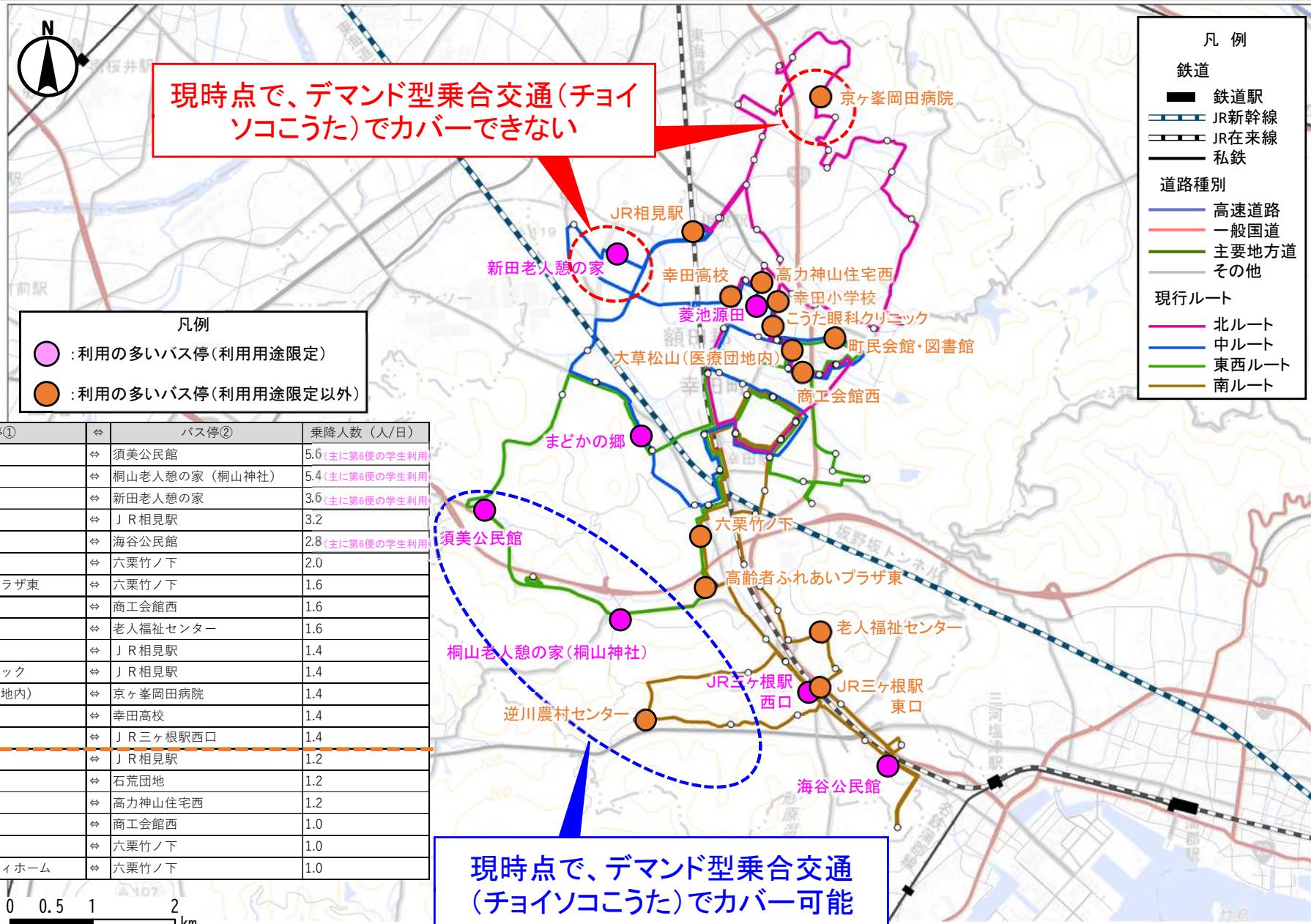
平日 : N=124、休日 : N=144



2.ルート再編検討の視点

(4)目的地へのアクセス性(OD調査結果)

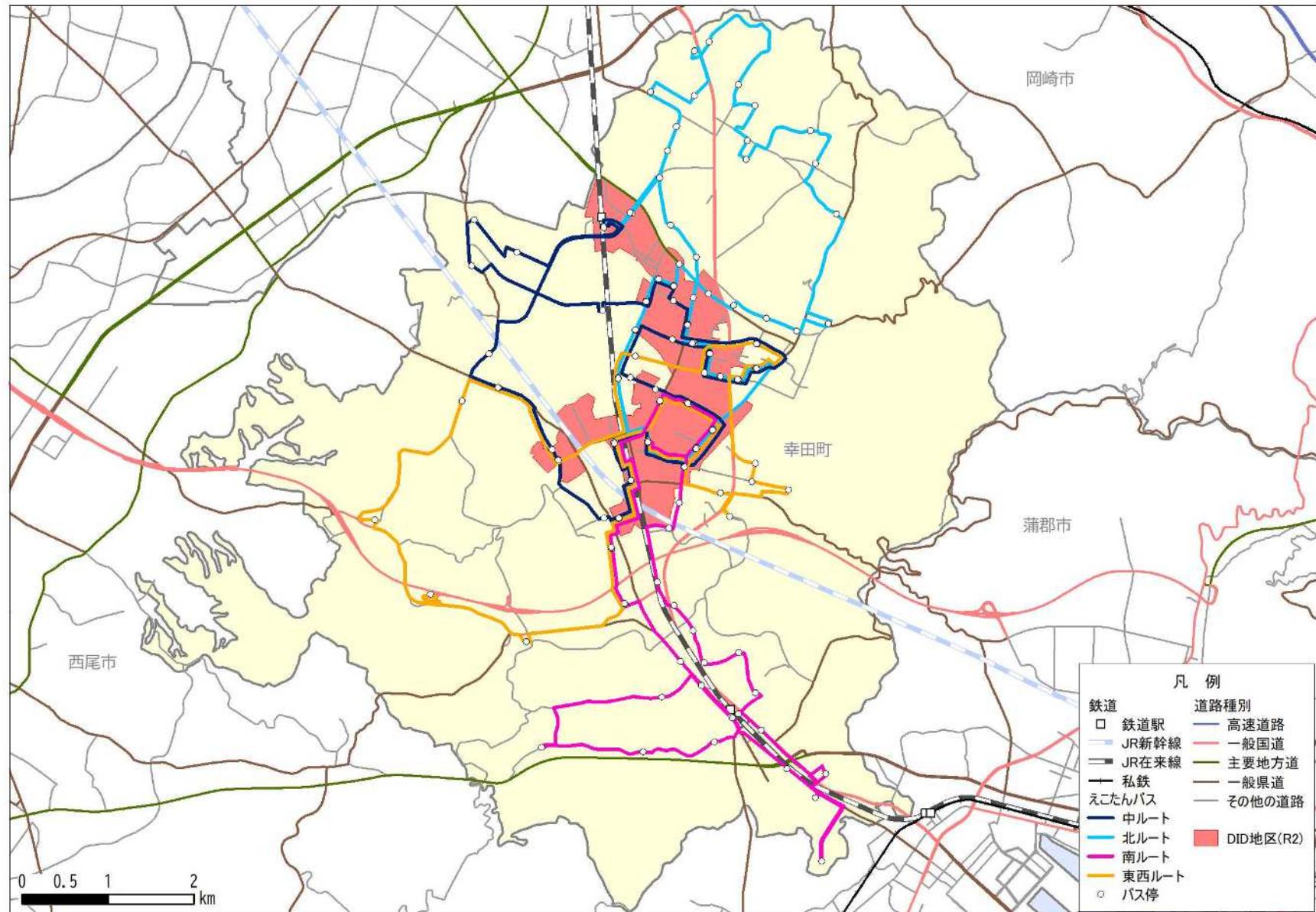
○利用用途限定の上位ODの一部は、デマンド型乗合交通（チョイソコこうた）でカバー可能。



2.ルート再編検討の視点

(5)人口分布と現状のバス路線

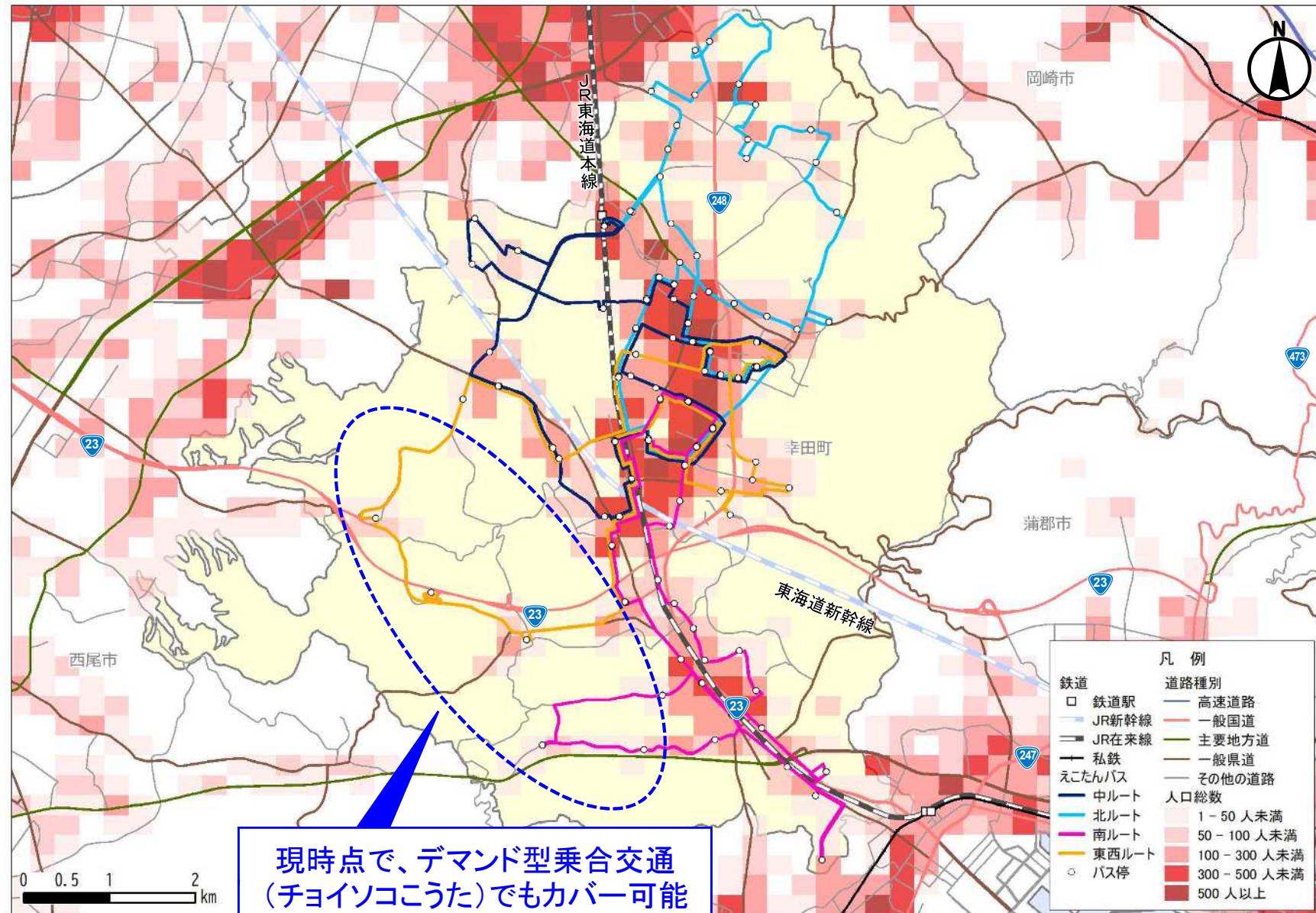
○えこたんバスは、人口集中地区（DID地区）をカバーできていることを確認。



2.ルート再編検討の視点

(5)人口分布と現状のバス路線

○えこたんバスのルートとメッシュ別人口図と重ね合わせ、幸田町を概ねカバーできていることを確認。



2.ルート再編検討の視点

(6)利用者の偏りの検証

- バス利用者数の計測ができる仕組みを名古屋大学と共同で導入し、えこたんバスの利用実態を調査。
- 路線延長が長く、利用しにくい運行形態となっていることから、利用人数が少ない便が存在。

■調査期間：2023年10月～2024年5月
(計：8か月間)

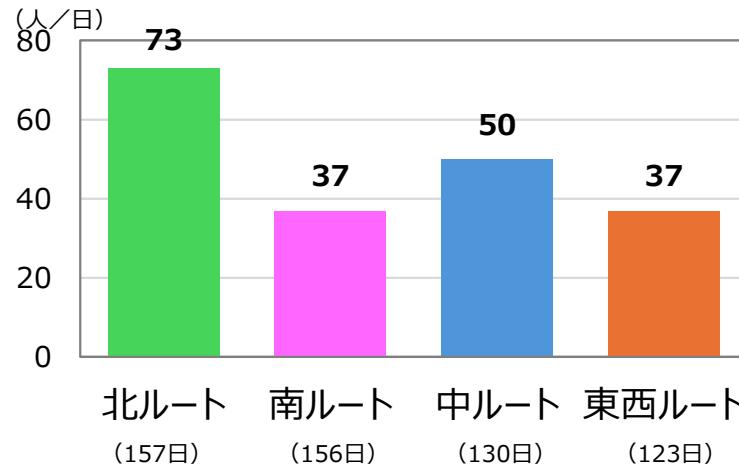
■調査対象：えこたんバス利用者

■分析方法：集計結果から日別・便別の平均利用人数を算出

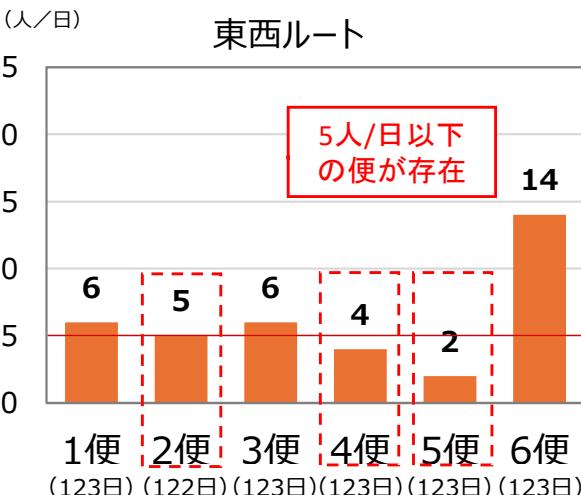
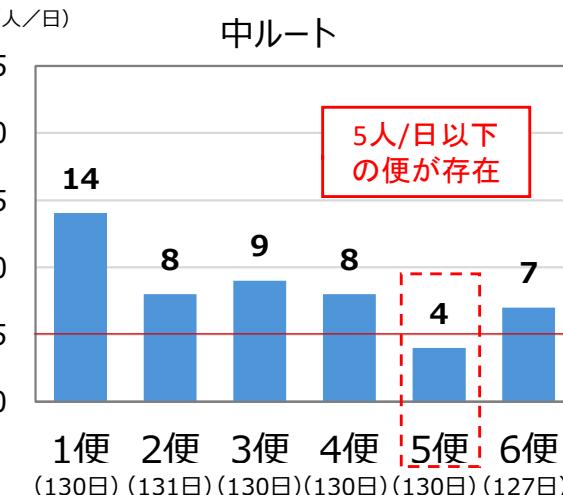
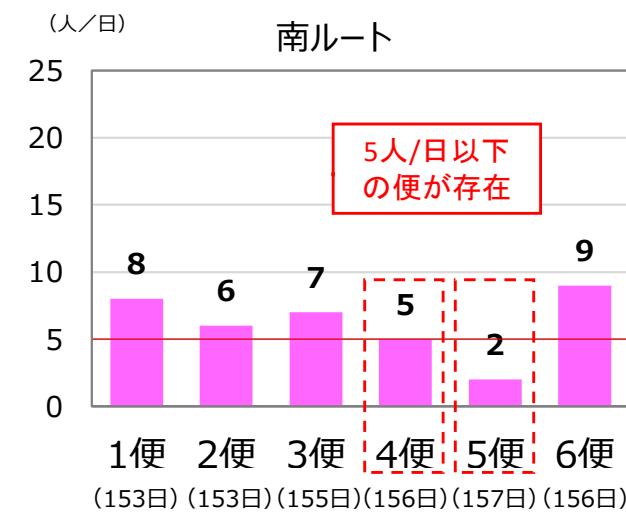
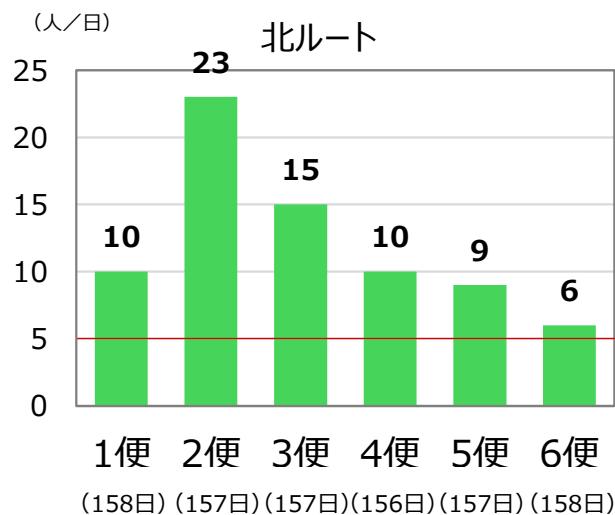
■計測方法：運転席横にセンサーを設置し、ドライバーがボタンを押してカウント



■路線別平均利用人数



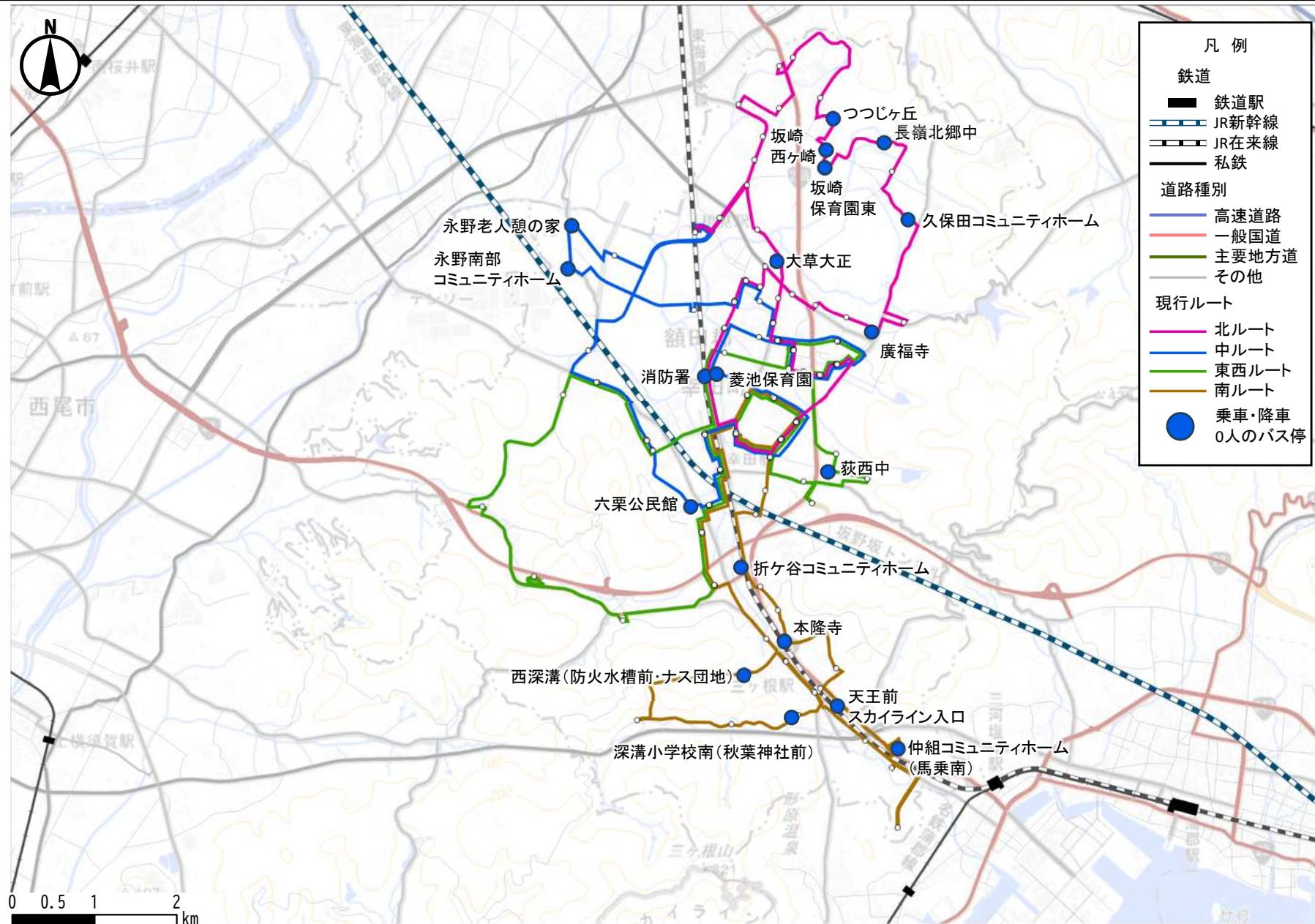
■路線別便別平均利用人数



2.ルート再編検討の視点

(6)利用者の偏りの検証

○OD調査から、乗車・降車とともに0人のバス停が複数存在。



3.ルート再編方針

- 各路線の状況を踏まえ、各視点について現状を整理したうえ、ルート再編方針を以下のとおりとする。
- また、学校教育課の意見を踏まえ、最終便は、小学校の下校時間に合わせスクールバスを兼ねる。

再編必要性検討の視点	分析内容	分析結果	ルート再編方針
①鉄道や路線バスと区間重複が生じていないか	<ul style="list-style-type: none"> えこたんバスのルートと鉄道・路線バスのルートをGIS上で重ね合わせて、重複の有無を定性的に確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在運行中の4ルートについて、重複する区間が複数存在。 	<ul style="list-style-type: none"> バスルート間での区間重複を解消
②沿線地域からの日常の移動先に直接移動できない路線となっていないか	<ul style="list-style-type: none"> 地区別に集計した「よく行く移動先（上位20施設）」へ公共交通機関で移動できるかを定性的に確認。 OD調査結果。 	<ul style="list-style-type: none"> R5年に幸田町民を対象に実施したアンケートの結果から、「平日・休日の主な外出先」は、えこたんバスのバス停から300m圏域内にあることを確認。 OD調査の結果から、利用上位の出発地↔目的地（利用の多いバス停）を確認 	<ul style="list-style-type: none"> えこたんバスとデマンド型乗合交通（チョイソコこうた）を組み合わせてカバー率を維持
③路線周辺の公共交通不便地域において移動支援が必要な人が多く存在するか	<ul style="list-style-type: none"> えこたんバス運行地域内（行政区）の公共交通不便地域内の在住人口を算出し、現状のバスルートでカバーしきれていない人口の大小を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> えこたんバスのルート図とメッシュ別人口図と重ね合わせ、人口集中地域を概ねカバーできていることを確認。 人口の少なく、現時点で、デマンド型乗合交通（チョイソコこうた）でカバー可能なエリアが存在 	<ul style="list-style-type: none"> 町外への通院等が確認された場合は、隣接自治体への延伸を検討
④便別（時間帯ごと）の利用者数に偏り（少ない時間帯）はないか	<ul style="list-style-type: none"> 路線別便別に利用者数を比較。 OD調査結果。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用人数が少ない便が存在（路線延長が長く、利用しにくい運行形態と想定できる） OD調査期間中に、乗降とともに利用のないバス停が存在 	<ul style="list-style-type: none"> バス停の利用実態等を踏まえつつ、ルートの所要時間を短縮し（現状の1時間→30分以内に）利便性の向上を図る

小学校の下校時間に合わせてスクールバスとして運用されたい
(学校教育課意見)



4.えこたんバスのルート再編案

○えこたんバスルート再編前後の比較結果は以下のとおり。

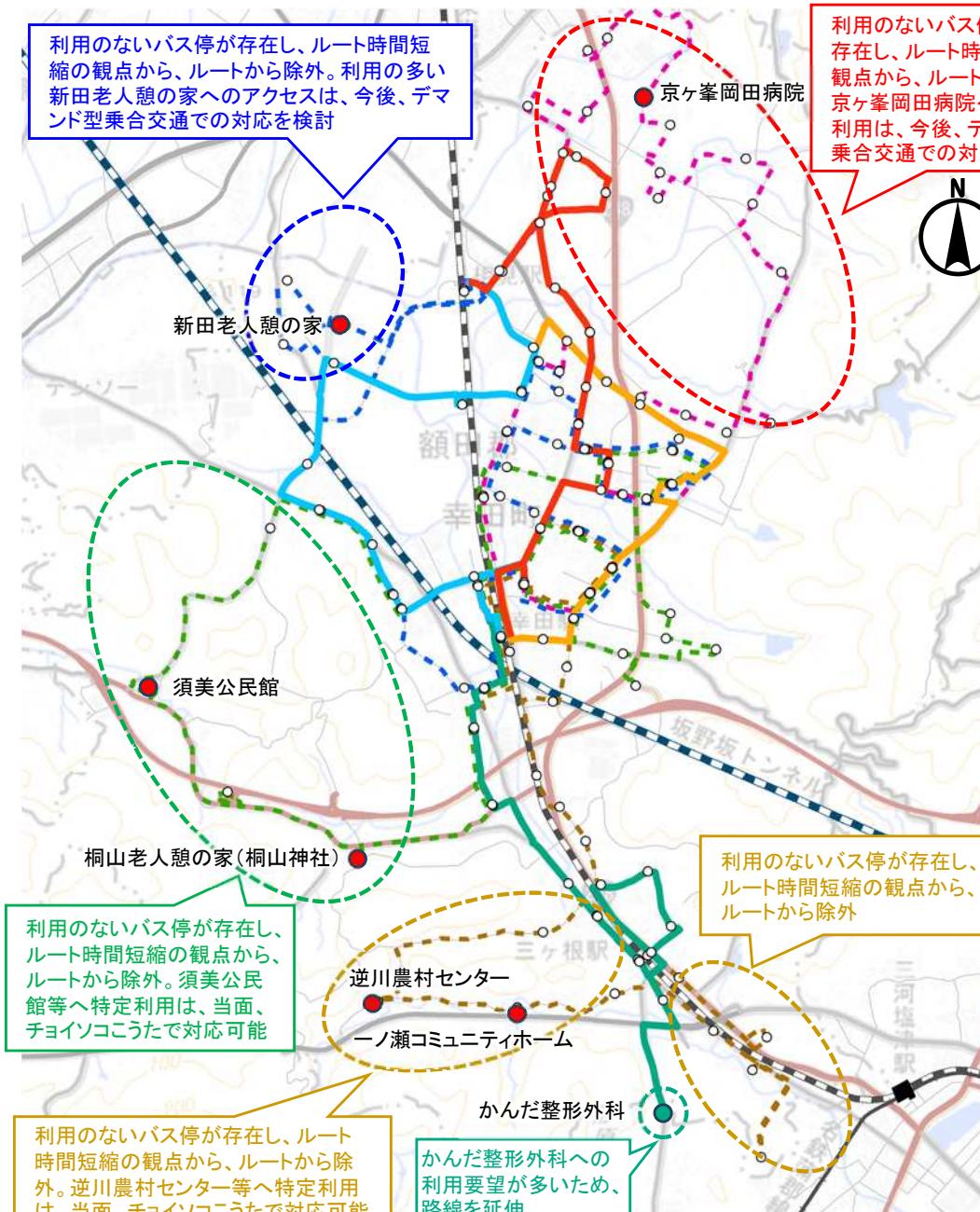
○ルート再編後、便数の増加や鉄道とのアクセス性の向上により、利便性の向上を図ることで、利用者数の増加に期待。

■再編検討前後の比較

	再編検討前	再編検討後
①所要時間	<ul style="list-style-type: none">➤ 北ルート : 54分➤ 中ルート : 53分➤ 東西ルート : 53分➤ 南ルート : 54分	<ul style="list-style-type: none">➤ ルート① : 28分➤ ルート② : 26分➤ ルート③ : 21分➤ ルート④ : 28分
②バス便数	<ul style="list-style-type: none">➤ 1日辺り6便運行➤ 往復回数 : 3回➤ 15時台はスクールタイムのため、運行しない➤ 16時台の各バスには小学生が下校目的で乗車	<ul style="list-style-type: none">➤ 1日辺り12便通常運行➤ 往復回数 : 6回➤ 15時台はスクールタイムのため、運行しない➤ ルート①と②は16時台の2便をスクールバスとして運行（通常時と異なるルート）
③アクセス性	<ul style="list-style-type: none">➤ 相見駅 : 北ルート、中ルート➤ 幸田駅 : 中ルート、東西ルート、南ルート➤ 三ヶ根駅 : 南ルート➤ ハッピネス・ヒル・幸田 : 北ルート、中ルート、東西ルート	<ul style="list-style-type: none">➤ 相見駅 : ルート①、②、③➤ 幸田駅 : ルート①、②、③、④➤ 三ヶ根駅 : ルート④➤ 幸田駅、相見駅の鉄道のダイヤを踏まえ、各ルートの時刻表（案）を検討し、鉄道とのアクセス性の向上を図る➤ ハッピネス・ヒル・幸田 : 幸田町の交通結節点として、鉄道駅およびハッピネス・ヒル幸田の連携でアクセス性を強化
④走行範囲	<ul style="list-style-type: none">➤ 停留所数 : 96	<ul style="list-style-type: none">➤ 走行範囲を検討前と比較して縮小➤ 停留所数 : 44
⑤カバー率	<ul style="list-style-type: none">➤ カバー範囲人口 : 37,146人（約87%）	<ul style="list-style-type: none">➤ カバー範囲人口 : 27,886人（約65%）

4.えこたんバスのルート再編案

○ルート再編後、再編前の1日3往復から6往復になり、利便性向上による利用促進を図る。



■現在のダイヤ(北ルート)

停留所名	時間
役場	8:35
↓	
幸田小学校	9:18
↓	
JR相見駅	9:11
↓	
役場	9:29

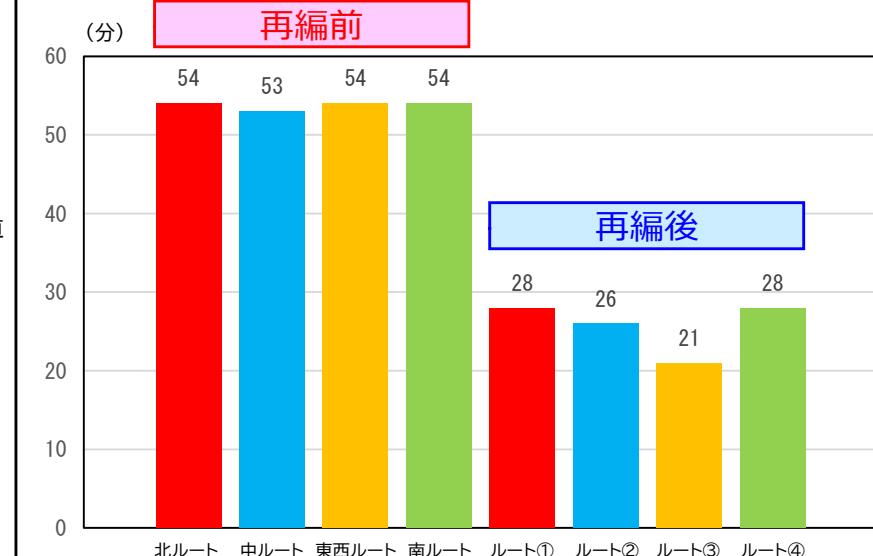
1日3往復

■再編後のダイヤ(例)(ルート①)

停留所名	時間
役場	8:30
↓	
幸田小学校	8:42
↓	
JR相見駅	8:58
↑	
役場	9:08

所要時間を30分以内にすることで、1日6往復が可能
→実質上の増便

■所要時間の比較



4.えこたんバスのルート再編案

○8月から9月にかけて、計5回の走行テストを実施し、すべての再編ルートに対し、ダイヤ通り走行可能かを確認。

■走行テスト

・実施対象

○走行テスト対象のルート: ルート①～④、ルート②(第6便)、ルート④(第6便)

・実施日と実施方法

○走行テスト実施日: 8/8(金)、8/19(火)、8/21(木)、8/27(水)、9/26(火)

○各ルートの往路・復路で各バス停間の所要時間を計測

○運行しているえこたんバスを用いて、スケルタイム(15:00～16:00)に実施

○ドライバーは現在運行しているえこたんバスの運転手

・走行テスト結果

○基本となる各ルート(ルート①～④)および第6便について走行テストを行い所要時間を確認した結果、概ね想定する所要時間以内となる結果。

走行テストのメモ帳

ルート②

停留所	走行テスト結果	時間	延長(km)
幸田町役場	-	8:40 9:40 10:40	13:00 14:00
幸田駅東口	8:44 9:44 10:44	13:04 14:04	15:58 1.3
鍋田ガード	8:47 9:47 10:47	13:07 14:07	16:01 0.9
石荒団地	8:49 9:49 10:49	13:09 14:09	16:03 0.7
まどかの郷	8:49 9:49 10:49	13:09 14:09	16:03 0.2
大日除グラウンドゴルフ場前	8:52 9:52 10:52	13:12 14:12	16:06 0.8
JA豊坂支店	8:52 9:52 10:52	13:12 14:12	16:06 0.2
野塙城	8:54 9:54 10:54	13:14 14:14	16:08 0.7
新田	8:57 9:57 10:57	13:17 14:17	16:11 1.1
つどいの家	9:01 10:01 11:01	13:21 14:21	16:15 1.3
わしだ保育園	9:03 10:03 11:03	13:23 14:23	16:17 0.7
幸田高校	9:04 10:04 11:04	13:24 14:24	16:10 0.3
相見駅	9:06 10:06 11:06	13:26 14:26	16:20 0.9
折り返し			
相見駅	9:10 10:10 11:10	13:30 14:30	16:24 -
幸田高校	9:12 10:12 11:12	13:32 14:32	16:26 0.9
わしだ保育園	9:13 10:13 11:13	13:33 14:33	16:27 0.3
つどいの家	9:15 10:15 11:15	13:35 14:35	16:29 0.7
新田	9:19 10:19 11:19	13:39 14:39	16:33 1.3
野塙城	9:22 10:22 11:22	13:42 14:42	16:36 1.1
JA豊坂支店	9:24 10:24 11:24	13:44 14:44	16:38 0.7
大日除グラウンドゴルフ場前	9:24 10:24	13:44 14:44	16:38 0.2
まどかの郷	9:26 10:26 11:26	13:46 14:46	16:40 0.8
石荒団地	9:27 10:27 11:27	13:47 14:47	16:41 0.2
鍋田ガード	9:29 10:29 11:29	13:49 14:49	16:43 0.7
幸田駅東口	9:32 10:32 11:32	13:52 14:52	16:46 0.9
幸田町役場	9:36 10:36 11:36	13:56 14:56	16:50 1.3

●ルート④第6便(往路)

停留所	走行テスト	時間	延長(km)
幸田町役場	- 0	15:31 -	
幸田駅東口	2:53	15:34	1.3
六栗竹ノ下	4:489	15:36	0.5
六栗前無	6:00	15:37	0.6
幸田シニア・シルバー世代サポートセンター東	7:15	15:39	0.7
市場公民館東	10:29	15:42	1.0
深溝西池田	12:07 11:20	15:43	0.5
三ヶ根駅西口	1	15:45	0.5
逆川農村センター	16:40	16:00	5.2
郷土資料館南・本光寺	20:22	16:09	3.3
老人福祉センター	3:27	16:11	0.5
本隆寺	26:18	16:12	0.4
三ヶ根クリニック	22:22	16:16	1.4
海谷西長田(三輪橋北)	3:23	16:18	0.6
海谷公民館	35:12	16:19	0.6
清幸園	37:43	16:23	1.1
かんだ整形外科	62:10	16:28	1.8
折り返し			
かんだ整形外科	-	16:33 -	
三ヶ根クリニック		16:36	1.2
本隆寺		16:40	1.4
老人福祉センター		16:41	0.4
郷土資料館南・本光寺		16:43	0.5
三ヶ根駅西口		16:46	1.0
深溝西池田		16:47	0.5
市場公民館東		16:48	0.5
幸田シニア・シルバー世代サポートセンター東		16:52	1.1
六栗前無		16:54	0.7
六栗竹ノ下		16:55	0.5
幸田駅東口		16:56	0.5
幸田町役場		17:00	1.3

●各バス停間の所要時間を計測し、調査員がメモ
●往復で調査実施時間を超過してしまう路線は、往路・復路を分けて実施

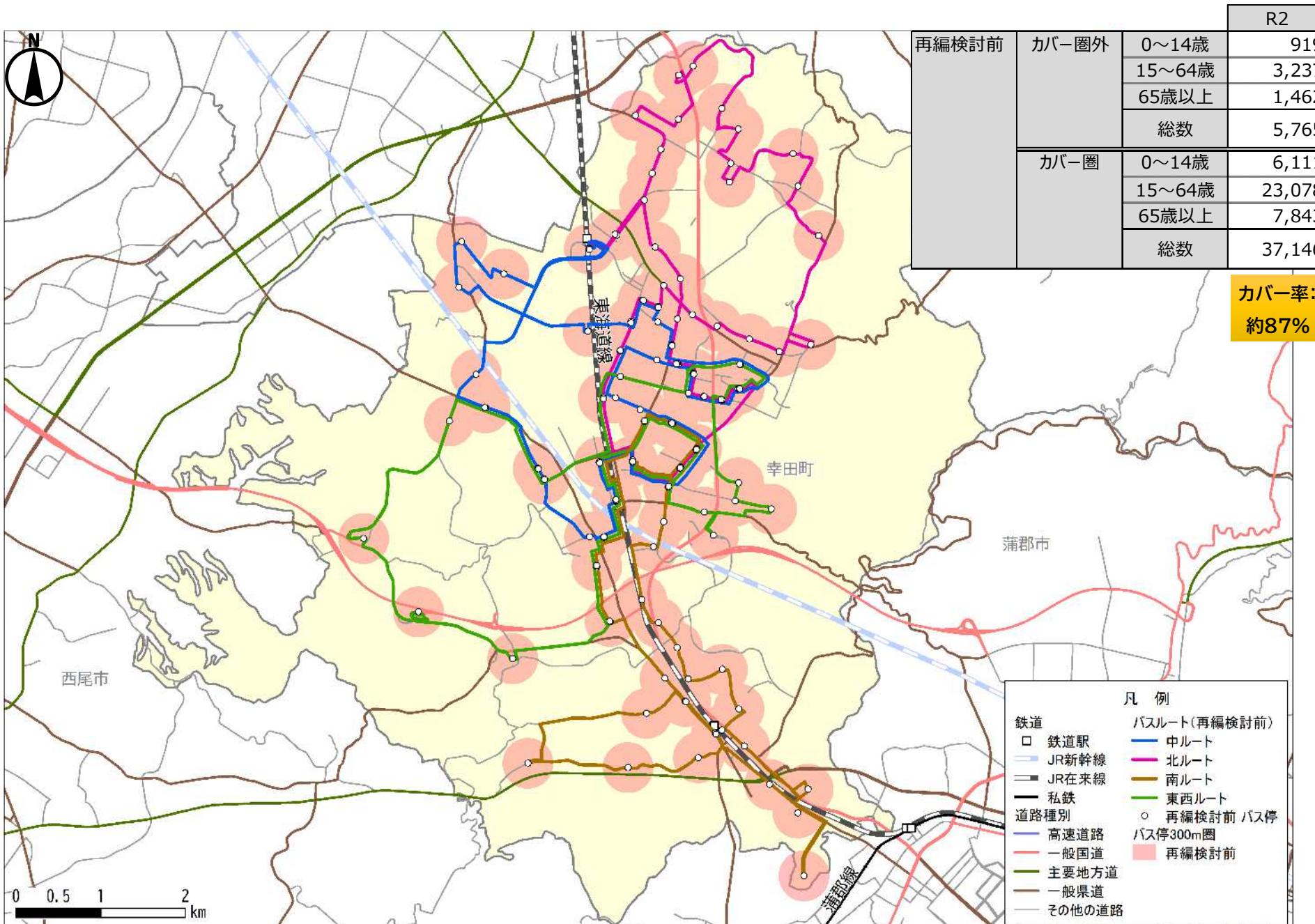
4.えこたんバスのルート再編案（通常ルート）

○再編後、幸田町内役場を中心として、南北方向および東西方向に移動可能な4ルートは以下のとおり。



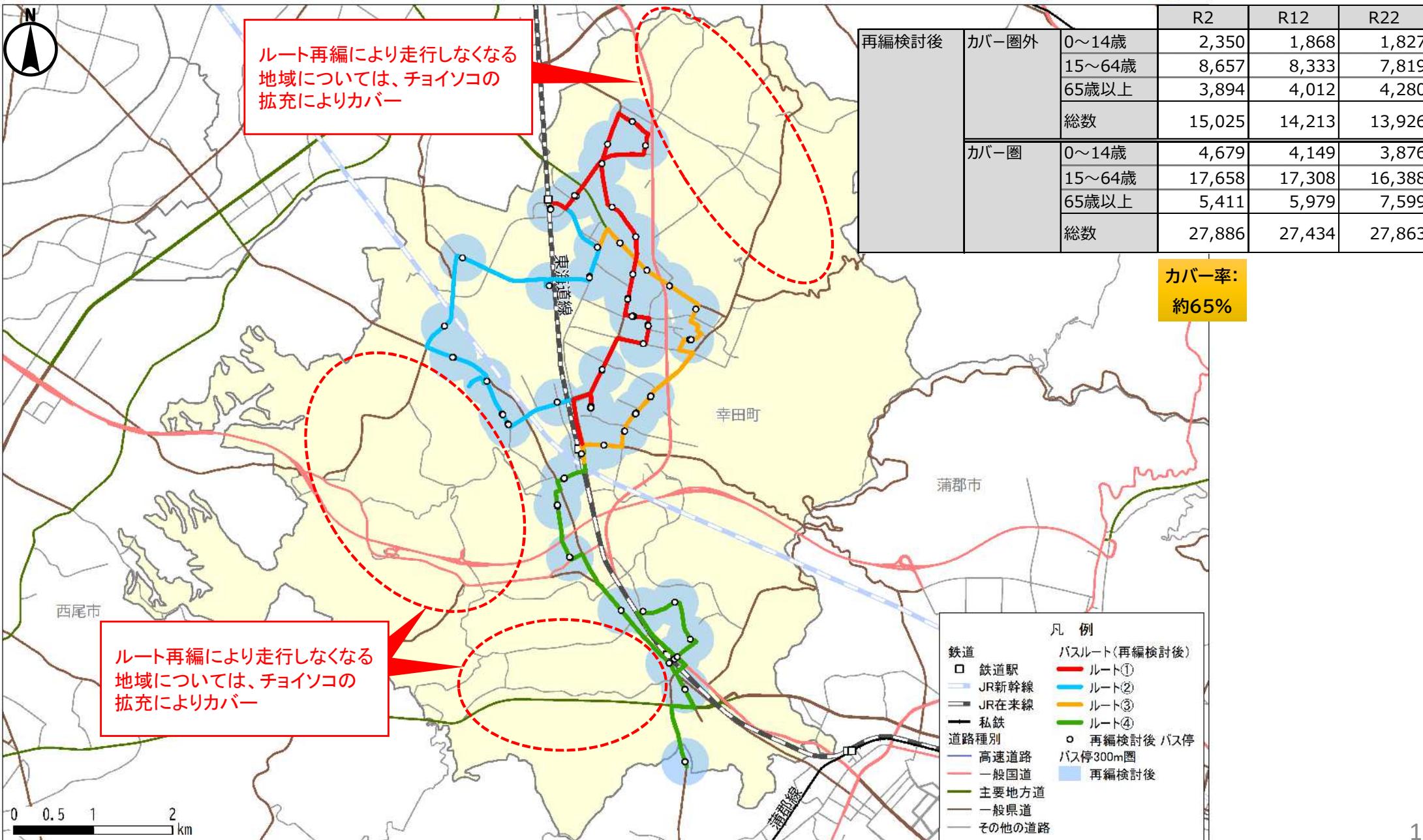
4. えこたんバスのルート再編案（再編前カバー率）

○ルート再編前のカバー圏（バス停から300m圏内）は以下のとおり。



4. えこたんバスのルート再編案（再編後カバー率）

- ルート再編後のカバー圏（バス停から300m圏内）は幸田町の人口集中地区（DID地区）を概ね網羅。
- ルート再編により走行しなくなる地域については、チョイソコの拡充によりカバーを検討。



4. えこたんバスのルート再編案（最終便）

○学校教育課の意見を踏まえ、最終便は、スクールバスを兼ねて以下のルートで運行。

